

文献抄録

理学療法で用いられる筋力テストに影響を及ぼす因子

MMT は広く臨床的評価として用いられているが、この評価法は主観的であり、テストを行なう個人や仕方、その評価の再現性が疑われることがある。筆者らは、検者によって与えられる力とその時間について検討を行なった。

テストは、2人の検者で整形外科的疾患のある65名の被験者の左側と右側の MMT を股外転と股屈曲について行ない、それぞれの被験者の左右の差について評価させた。また、検者の抵抗を加える手と抵抗を加えられる部位との間に新しく作製した電氣的機器を入れ、加えた力と足の動きを示す角度とを測定した。機器により測定した値は、抵抗を加え被験者の角度変化が始まる点 (BA=Breaking Angle)、抵抗を加えていた時間 (FT=Full Time interval)、抵抗を加えた時の平均の力 (AF=Average Force)、抵抗を加え角度変化が始まり、抵抗により足がテーブルにつくまでの時間 (LT=Limited Time)、抵抗を加え最も大きな力が記録された点 (PF=Peak Force)、角度変化が始まる点の力 (BF=

Breaking Force) である。

その結果、検者の評価と機器の測定値との間で高い相関を示したのは、FT あるいは LT に AF を乗じた値である時間の因子が含まれているものであった。そして、AF, BF, PF のみの力の強さに関する値はそれぞれ低い相関を示した。最も高い相関を示したのは FT・AF で FT がこれに次ぎ、最も低い相関を示したのは BF であった。これらの結果は、2人の検者で一方がわずかに高い値を示したが著明な差を認めることはできなかった。また、股外転と股屈曲では同様な結果を得たが、股外転は股屈曲に比べ比較的相関が高く、股屈曲の方が股外転に比べより大きな抵抗が必要であることを示している。

これらの結果から、MMT の評価は検者が加える力の強さと、力を加えている時間とを加味したものが、検者に最も影響を与えることが示された。

Nicholas J.A., Sapega A., Kraus H. & Webb J.N.: Factors influencing Manual Muscle Tests in physical therapy., J.B.J.S., 60-A(2): 186-190, 1978.

(東京都老人総合研究所 理学療法士 伊東 元)

リウマチ患者のためのグループ活動治療

リウマチ患者が、日常生活や自身の活動等に否定的態度を取り勝ちであることはよく知られている。そのため、治療側が十分な援助を出来ないこともある。これらの問題の解決のために、ある種の集団療法が助けになるのではないかと考え、2年間にわたって次のような活動を行なった。目的：①患者がより肯定的な態度を取るよう援助する。②関節拘縮を防ぐ。③最新のサービスや援助等に関する情報を与える。④家庭でできるようなアクティビティを捜す。グループ：55～65歳で1関節以上に ROM 制限がある、中期以後の段階の入院患者。平均6～8人の患者で構成され、1～3カ月間グループに参加。日常活動：週4回、10時すぎから昼まで行なう。活動は朝のお茶の時間の雑談で始まる。次に ROM を保つために音楽にあわせて体操する。次にグループ活動を行なうが、これは下記の4種類に分類できる。①実際の活動：現代的な手工芸（造花、菓子づくり、美術など身体的には単純だが知的刺激になるもの）を1～2週間かけて行なう。一般に患者は、同種のものを個人別

に行なうことを好む。②話し合い：患者に最新の情報を知らせるのに役立つ。最も役立っている話題は「自助具」である。この他に「関節置換術」、「障害者のための本」、「休日」などの話題がある。③講話：身障者にかかわりを持つ種々の専門家の話を聞いたり、電気について（電気毛布の安全性等）の話や、イギリスリウマチ協会代表の話を聞いたりする。④社交的活動：グループで、ドミノ、トランプ、九柱戯などを行なう。結果：最も重要な変化は態度であるため、数量化するのは難しいが、大多数の患者は入院中に肯定的態度を持つようになり、よりリラックスして自分の問題を話せるようになり、病棟での孤立感も減少し、OT ともより全人的なかかわり合いを持つようになった。1つ達成できなかったことは、退院後も趣味活動を続ける、ということであった。

Carr, P.: Activity group therapy for rheumatoid arthritis, The British Journal of Occupational Therapy, 41 (2): 71-72, 1978.

(東京病院付属リハビリテーション学院 作業療法士

宮前珠子)